

# 成溪會誌

1997. 1 No.84



成蹊大学国際交流会館の 建設資金募金について	宇野 重昭……………	2
---------------------------	------------	---

## 特別寄稿

国鉄改革10年―その経過と課題	秦野 裕……………	3
核酸から蛋白へ	池原 森男……………	8
通産大臣大いに語る	塚原 俊平……………	10

## 随想

中国のトキ保護増殖を考える	田植 豊實……………	14
ハワイで思うこと	吉岡 光昭……………	15
我が青春のハワイ航路	斎藤玻璃夫……………	17
ミツバチからの贈り物	小田 忠信……………	19
成蹊でのテニス	武田 彰……………	21

四大学運動競技大会／23	わが友をしのぶ／39
会員動静／40	第36回成蹊会謝恩顕彰会／56
成蹊学園の近況／62	学園史料館資料紹介／68
図書館蔵書紹介／70	予告・物故・表紙絵の言葉／71
成蹊会報告・叙勲／72	

## 同窓のしづこ

● 恩師を囲んで……………	24
● 広蹊会総会 文学部福田ゼミ 星の子会卒業40周年 AKK会 新井先生の叙勲をお祝いする会 肥後先生の叙勲をお祝いする会	
● 学校・年次会のごとく……………	26
池祥会 高校7回D組クラス会 蹊水会 東京医科歯科大学成蹊会 蹊電会総会 蹊電一期会 桃江会 高校卒業20周年	
● 体育会・文化会OB会……………	30
硬式テニス部女子3部昇格祝勝会 中学ラグビー部関東大会優勝祝賀会 哲学研究部OB会 旧制高校滑空班の集い	
● 業界・企業同窓会……………	31
観光成蹊会 鹿島成蹊会 成蹊土木会 成蹊教育研究懇話会	
● 地域同窓会……………	32
オーストラリア・クイーンズランド成蹊会 新潟成蹊会 栃木成蹊会 茨城成蹊会 千葉支部総会 川口成蹊会 讃岐成蹊会 福岡成蹊会	
● 寮歌祭……………	36
日本寮歌祭 横浜寮歌祭 信州寮歌祭 東海学士会寮歌祭 神戸寮歌祭 広島寮歌祭	

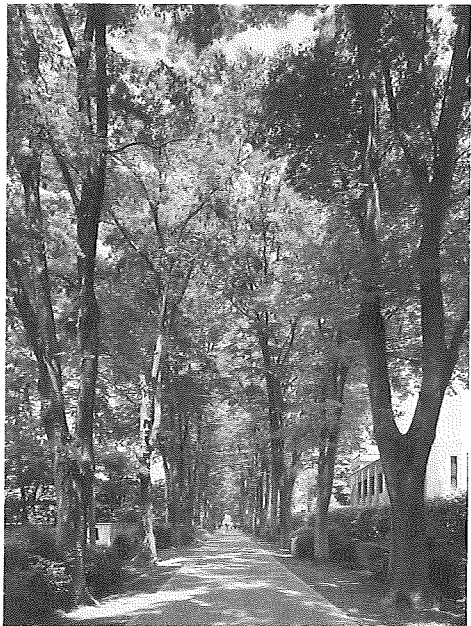
表紙の題字は上條信山先生、絵は高山知也(文・52年)

# 成蹊学園の近況

(成蹊学園総務課提供)

環境庁は、全国各地で人々が地域のシンボルとして大切に、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境（音風景）を保全するための地域のとりくみを支援する事業の一環として、全国から広く公募した中から「日本の音風景百選」を認定しました。

東京都では、「成蹊学園ケヤキ並木」が「三寶寺池の鳥と水と樹々の音」（練馬区）、「上野のお山の時の



鐘」（白区）、「柴又帝釈天界限と矢切りの渡し」（葛飾区）とともにこの百選の一つに選ばれ、平成八年七月一日に認定証が交付されました。

学園けやき並木は、昭和四十六年に「武蔵野市天然記念物」に指定され、昭和五十七年には「新東京百景」にも選ばれています。

なお、環境庁の事業に先立ち、平成六年に武蔵野市が実施したアメニティコンテストの一つ「音風景発見賞」に、元学園保健管理センター所長の津田淳一さんが応募した「木枯し」のあとと「静寂」が最優秀賞に選ばれました。武蔵野市がこれをもとに環境庁に推薦したのが、今回「日本の音風景百選」に認定されることになったものです。

## 音の原風景

昭和15年（1940年）春、関西から武蔵野町大野田の当地に移って来た13歳の少年にとって、最も驚かされた感懐したのは豊かな緑に囲まれた家々でした。父の求めた現在の土地も、周りは抱えられないくらい太い樺や檜の木々で囲まれていました。風の強い日には枝や葉の打ち鳴らす音に怯えたこともありました。私の家から東の数百メートルに連なる成蹊の樺並木は、亡き父の散歩のお供をするスタートでした。無言で2人で歩きました。父亡きあとは、迎えた青春時代の悩み、喜びを独り抱いての散歩道となりました。長女が生まれ数年経ったころ、故江藤純平画伯とお近づきとなり、家内も共に我が子のように付き合っ下り、よく樺道を訪れました。

私が長思の間、画伯は並木道の絵を描けてくださって、音も入っているでしょうと楽しそうに申されたの思い出します。

私の武蔵野の音を、静かに聞く原風景はここから始まったような気が致します。

今は毎朝のように、家内と2人で同じ樺並木を辿り、成蹊大学のグラウンドを一周し帰ってくるのが日課となつて

います。

春の新緑はやさしく爽やかな葉ずれ、夏は濃い緑の下のしじま、晩秋の軽やかな落ち葉の音。不思議なのは風もない時、並木の一本、一本、違った時間に木毎に、一斉に雨のように降る落ち葉の姿です。サラサラとでも表現してよいのかも知れません。

冬は初冬の木枯らしが強く葉を、枝を叩きます。やがて枯れ木を寒い風が乾いた音をたて行き交うようになります。その一瞬青い空に静寂の訪れがあります。

1940年代、60年代の家の周りは、春は鶯、夏は甲虫がガラス戸を叩く声に驚かされ、晩夏は蜩の大喝唱、冬は鳩や尾長の賑やかなさえずりがのこっていました。やがて我が家の玄関の並木も道路工事でなぎ倒されてしまいました。反対もものかわ、マンションが建ち朝日とは緑がなくなりました。

しかし、守られて大きく育った成蹊の並木は四季の静かな音の原風景を優しく奏でてくれていて、少年時代と変わっていないようです。今は古い耳も遠くなってきましたが、五感で楽しみながら散歩を続けています。

大切に守って行ってあげたい武蔵野の音の原風景です。

(津田淳一)

## 大学の近況

### 学内ネットワーク(学内LAN)の整備状況について

昨今の情報通信システムの進展と、インターネットによる世界規模のネットワークの出現により、高度情報化時代の波が急速に押し寄せてきました。高等教育機関としての大学にあっては特に、これら最先端の技術に対応した教育研究の推進が不可欠であり、その基盤となる全学的なネットワークの整備は、本学においても至急解決しなければならない問題でした。

そのような中で、本学においては従来、情報処理センター及び工学部においてネットワークを利用した教育・研究を行ってきましたが、大学10号館(文科系学部の研究棟)の竣工を契機として、全学的な情報のインフラ整備を推進するため、学内基幹ネットワーク(学内LAN)整備計画を策定しました。

この計画に基づき、大学各建物間はFDDI通信方式による光ファイバーケーブル(通信速度100Mbps)、建物内(各教室、大学院研究室など)はイーサネット通信方式による同軸ケー

ブル(通信速度10Mbps)の敷設を平成八年三月に完了し、学内基幹ネットワークの第一期事業が終了しました。また、これに合わせて、ネットワーク利用の増加に対応し、情報通信の高速化、大容量化を図るため、学術情報ネットワーク(SINET)に加入し、学術情報センターと本学情報処理センター間を高速専用回線(1.5Mbps)で結びました。

これにより、研究室や教室でのインターネットや電子メールの利用環境が整い、教職員のみならず、多くの学生に利用されています。因みに、ネットワークを個人利用するためのユーザIDを登録した学生は、現在約二千五百名に上っています。

また、情報処理センターでは、現在の汎用機システムからクライアント/サーバー型のオープンシステムへの全面移行を平成九年度に実施する予定であり、学内LANを充分活用するための接続端末の整備も図っています。

以上の情報通信基盤の整備とともに、これら最新機器を使用したコンピュータ・リテラシー教育や、平成八年三月に設備した大学3・4号館のマルチメディア対応視聴覚・L1教室ネットワークシステムを利用した語学・専門教

育など、高度情報化社会の担い手となる学生に対する良質な情報教育の推進に努めています。

さらに、学生に対するサービスの向上のため、学生会館やトラスコングアデン(休憩施設)など、教室以外の施設へのケーブル敷設、端末設置を順次推進し、快適なネットワーク利用環境を充実するよう、検討を開始しています。

なお、学内LANの整備に伴い、本学の教育・研究活動や本学が保有する学術情報など、多方面にわたる情報をご覧いただけるよう、ホームページの開設に向けて準備を進めています。どうぞご期待ください。

(企画調査課)

### 図書館改修について

図書館では長年、閲覧座席の不足の解消、環境整備の必要に迫られています。平成八年六月一日から十月二十日までの約五ヵ月間、三期にわたって図書館本館・別館の全面的改修工事が行われました。

改修工事後の図書館の状況について一番変わったのは、これまで別館二、三階に集中していた参考図書・一般開架図書が分野別に配置されたことです。

開架される図書も、来年度以降は書庫にあったものが大幅に開架されますし、今後新規に受け入れる資料は、原則的に開架していく方針です。平成九年度末には、約二十万冊の資料が開架される予定です。

開架図書が増えれば、読みたい本をその場で手に取ることができずから貸出手続きによる待ち時間も少なくなります。閲覧室もそれぞれの分野別に用意され、本の貸借・返却のカウンターも分散されました。

開架図書は分野別に配置されましたが、検索端末は必要に応じて利用できるよう各階に用意しています。特に本館一階と別館二階には検索端末専用のコーナーをつくり、閲覧座席に端末騒音の影響を及ぼさないよう配慮しました。検索システムは、平成八年四月から試行的に始めたOPACが公式採用されることになりました。この新システムは、検索速度が速く、情報量が多いのが特長です。

改修後は、これまでも要望の寄せられていた研究個室、グループ閲覧室が設置されました。図書館利用の多様性—データ処理のためのノートパソコンの使用、図書館資料を使つての協同研究など—に対応していくためです。

利用者の要求を充たすためには、図書館データベースの充実が求められると同時に、インターネットを含めて外部データベースとのスムーズな接続も必要不可欠です。この点についても、来年度以降の実現にはなりますが、現システムからより高度な機能を搭載したワークステーションに切り替えるべく目下検討中です。

図書館はサービス業務なので、利用者の要求にこたえるため、より高度なサービス、きめの細かい対応が可能な環境整備を進めていきます。

(図書館事務室)

### 平成八年度公開講座について

本年度は、特別講演会とパソコン講座の開催となりました。

特別講演会は、統一テーマとして、「アジアの心、アジアの力」を掲げ、六名の講師により行われ、十一月二日から六週間にわたり、土曜日午後一時三十分から四時まで開催されました。従来の特別講演会とは異なり、本年度は、一名の講師が約二時間の講演によって、それぞれの講演テーマをより丁寧に解説できるようにしました。また、本学まで受講のために足を運んでいた市民の方々に本学の豊かな自然

と整備された施設の中で、ひとときの思索の時間を持つていただけよう、夕暮れ前に終了するよう配慮しました。

近年、公開講座は多くの大学において、さまざまな形で開催されるようになりましたが、本学の公開講座は、高い研究成果の市民への還元という、大学が主催する公開講座の本来の姿を守りつつ、着実な進展を図っています。前年度には、初めて講演の内容を冊子にとりまとめ、教職員と父母懇談会に出席された方々に配布いたしました。この公開講座講演録の創刊は、講師の方々の優れた講演内容を、先ず本学に

関係する方々に広く知っていただくことをめざしたものです。公開講座では、平易な言葉で語られながらも、最新の研究成果を随所に活かした講演が行われています。私たちが日頃身につけている見解が、専門の研究者による丁寧な解説によって正されます。公開講座の場における市民のこうした知的発見を大切にすることが、生涯学習・生涯教育の本来の意味に沿うものであり、思索する市民を励まし援助する研究教育機関としての本学に対する信頼感の高まりを導くこととなるでしょう。

◎公開講座特別講演会の開催日程は、

つぎのとおりでした。

◇第一回講演会(十一月二日)

「東アジア経済の展望―二十一世紀の東アジアと世界―」

関口末夫教授(成蹊大学経済学部)

◇第二回講演会(十一月九日)

「日タイの歴史関係―第二次大戦中を中心に―」

村嶋英治教授(成蹊大学文学部)

◇第三回講演会(十一月十六日)

「アジアにおけるエネルギー利用と環境問題」

小島紀徳教授(成蹊大学工学部)

◇第四回講演会(十一月三十日)

「日本の自治、韓国の自治」

小原隆治助教授(成蹊大学法学部)

◇第五回講演会(十二月七日)

「東アジアの経済発展と儒教倫理」

竹内靖雄教授(成蹊大学経済学部)

◇第六回講演会(十二月十四日)

「南インド古典音楽の解説とウィーナ演奏」

的場裕子助教授(日本女子体育短期大学)

◎パソコン講座「パソコンツアーズ・パートII―インターネットと接近遭遇」の開催日程は、つぎのとおりです。

開催時刻は、いずれも午後一時から四

## 中学・高等学校の近況

### 中学校修学旅行

平成八年度の中学校修学旅行は、例年通り、五月二十七日から三十一日までの四泊五日の日程で行われました。今回は、旅行中に生徒たちが創作した俳句のいくつかをご紹介します。

薬師寺の塔はええなあお坊さん  
鹿の子がせんべいほしいと主張する  
大仏の鼻の穴にも負けるほく  
法隆寺聖徳太子の香りする  
くらべ見る十円硬貨と平等院  
寝てみたしふかふかとした苔の庭  
見つけたい自分に似ている仏様  
太陽の眩しさに勝つ金閣寺  
心地よく夏の昼寝か弥勒菩薩  
宇宙感ず枯山水の白光り  
五月雨に生徒あたたふた二年坂  
足伸びて友と語らふ古都の旅

### クラブ活動

今年の夏も、多くのクラブが活躍しました。その中から、中学校ラグビー部の生徒に報告と感想を書いてもらいました。

### ラグビー関東大会優勝

中学三年 立松 拓

今年のチームのメンバーは、去年からレギュラーで試合に出ている選手が大半で、春の新人戦が始まった頃から周りからは強いと言われていました。でも僕自身は主将という経験も初めてだったし、顧問の土屋先生がニュージランドへ行かれたことなど、いろいろな不安がありました。それでもたくさんの方々のご協力や応援のおかげで何とか勝ち進んで行くことができました。

東京都で優勝し、関東大会に出場する頃になると、チームもだいぶまとまりがでてきました。初戦の慶応普通部に七十三対〇で大勝し、続く二回戦は不戦勝、準決勝では奈良中にも三十二対七の大差で勝つことができました。決勝では、緊張のせいかわ、皆の動きが固かったのですが、何とか三〇対五で勝ち、優勝することができました。夏合宿を経てさらに力をつけ、今は秋のシーズンに向けて練習をしています。そして、最終目標である東日本大会に出場し、優勝できるように戦って行きたいと思っています。

### 高校の遠足

高校では六月一日に遠足が行われました。集団登山を行う中学生の遠足とはまた一味ちがって、高校生は、クラスごとに遠足委員を中心に、自分たちで企画運営します。以下は、三年生遠足委員たちによる高校生活最後の遠足の報告です。

### 清水公園に行つて

高校三年 逸見 美紀

南谷恵美子

六月一日、担任を初めとする私達の願いがかない、空は晴れて、私達は八時三十分には大学正門に集合した。そしてバスに乗り込み、千葉県野田市清水公園へと出発した。それぞれお菓子を交換したり、ゲームをしたりして、バスの中の二時間を過ごした。

目的の地に到着して、私達はアスレチックの広場へと向かった。そこで靴を替えたり、ゼッケンをつけたり、ズボンを折ったりして準備を整えた。ファミリーコース、水上コース、冒険コースの三つのコースがあり、多くの人は水上コースを選んだ。ロープにぶらさがって綱に飛びついたり、ロープを渡ったり、水に浮かんだいかだを渡った

時までです。

◇第一回講演およびパソコン実習

(平成九年一月二十五日)

\*講演「インターネットと社会―ネットサーフィンを交えて―」

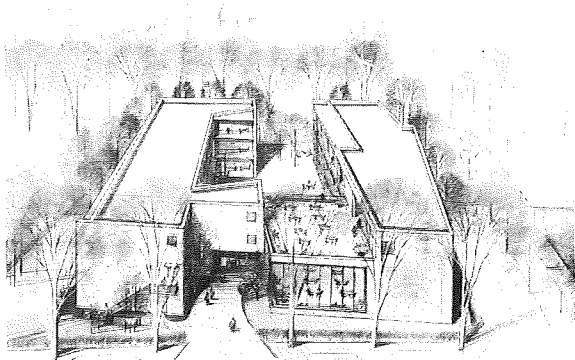
高橋三雄教授(筑波大学)

\*実習指導 白井裕司助手(成蹊大学情報処理センター)

◇第二回パソコン実習(二月一日)

\*実習指導 白井裕司助手(同)

公開講座に関するお問い合わせは学務部学務課(電話〇四二二二七二三五五)までお寄せください。



成蹊大学国際交流会館完成予想図(関連記事2頁)